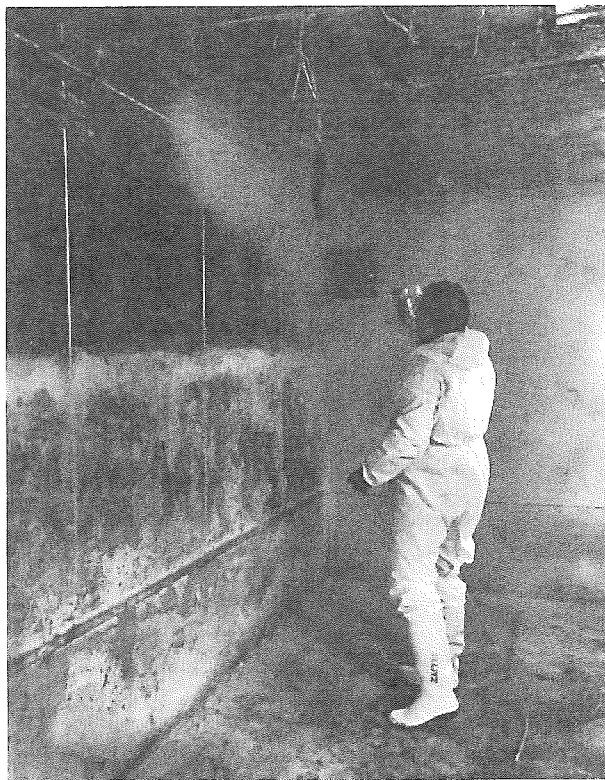


# 冬季に石灰塗布

## 畜舎に牛つなぎ実証

### J A 呼吸器系疾病防ぐ 中標津

根室管内J A中標津は2日、中標津町武佐で酪農を営む土井上浩二さん(40)の牛舎で「冬季石灰塗布施工実証試験」を行った。石灰塗布後の乾燥時間や畜舎内に牛をつないだ状態で石灰資材の飛散状況などを確かめた。道根室家畜保健衛生所や根室農業改良普及センター北根室支所の職員らが参加した。



リシンガンで分娩房の壁面にゼオ石灰を吹き付ける作業(中標津町で)

同管内では、冬季間は石灰吹き付け機材が凍結するなどの理由で石灰塗布を行わない。しかし、アンモニアガスなどが発生

生して牛の呼吸器などに影響が出やすい。アンモニアガスの吸着性と除菌が期待できる石灰乳塗布が冬季間でも求められていた。

今回は牛舎内の北側の分娩(ぶんべん)房10平方メートルと育成房10平方メートルの水と資材を同量混ぜ合わせた。資材は(株)ゼオがリシンガンで吹き付けた。この手法で吹き付けると乾

きやすく、資材の飛散も問題なかった。約1時間で作業は終了し、2時間ほどで石灰乳の表面は固まった。

同資材は石灰にゼオライトを配合することで従来の石灰塗布に比べてアンモニアの吸着能力に優れ、吹き付け後1カ月間pH(水素イオン指数)12.5を保つ。牛舎や豚舎の他、子牛専用のハッチャバンカーサイロ壁面にも一定の除菌効果が期待できると同社の担当者は話す。

同J A購買部の長淵豊部長は「寒い時期の呼吸器系疾病による牛のダメージを減らしたい」と今回の実証試験を冬季間にあえて行った。ゼオ石灰の費用は1平方メートルあたり50円ほどだ。同J Aの資材店舗で資材と吹き付け機材を販売し、加えて、リシンガン一式の貸し出しも行う。